

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	果実の木 求名		
○保護者評価実施期間	令和8年1月15日		～ 令和8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	令和8年1月15日		～ 令和8年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月11日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多様な活動を通じて、こどもの成長を幅広く支援していること。	室内活動・戸外活動・創作・運動・社会体験など、こどもの興味や特性に合わせた多様なプログラムを実施している。	活動内容を定期的に見直し、こどもが楽しみながら成長できる環境づくりに取り組む。
2	職員の専門性向上に向けた継続的な取り組みをしていること。	外部研修への参加や専門家からの助言を積極的に取り入れ、支援の質向上に努めている。	研修内容を職員間で共有し、事業所全体のスキルアップにつなげる。
3	地域・関係機関との連携を重視した支援体制を整えている。	保育所、学校、医療機関、他事業所などの情報共有を積極的に行い、こどもを取り巻く環境全体を見据えた支援を行っている。	会議や連携の場に積極的に参加し、地域の支援ネットワークの一員として役割を果たす。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	安全管理に関する職員間の理解のばらつきがある。	安全計画や緊急時対応の手順について、職員によって理解度に差があり、統一した対応が難しい場面がある。	避難訓練とも関連し、研修やマニュアル確認の機会を増やすことが求められる。
2	活動の振り返りや評価が十分に体系化されていないこと。	多様な活動を実施している一方で、活動ごとの効果やこどもの成長の振り返りが職員によって異なり、評価が十分に整理されていない場合がある。	活動の目的・成果・改善点を共有する仕組みを整えることで、より質の高い支援につながる。
3	保護者への情報発信がやや不足していること。	活動内容やこどもの様子の共有が簡易的になり、保護者が事業所での取り組みを十分に把握できない場合がある。	写真・活動レポート・個別のフィードバックなど、情報発信の工夫が必要。